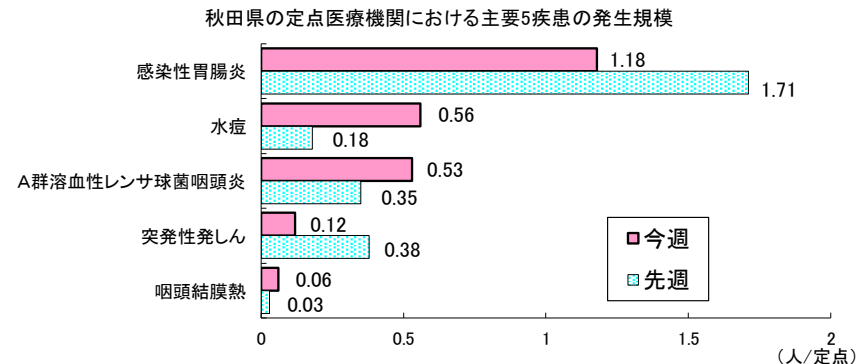




【第48週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で31%減少しています。保健所別では、秋田市で増加、横手で同規模、大館、北秋田、能代、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。
2. 水痘は、県全体で3.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、大仙で増加、秋田中央で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙で増加、横手で同規模、大館で減少しています。



発生報告

< 5類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減			
RSウイルス感染症	0.09		↘	0.29		↘				0.50		↘																		
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.03	0.06	↗		0.14	↗												0.25	0.25											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	0.53	↗	0.14	0.29	↗	1.00	0.75	↘						0.75	1.25	↗		0.25	↗	0.75	1.50	↗	0.33	0.33					
感染性胃腸炎	1.71	1.18	↘	2.00	2.86	↗	2.75	0.50	↘	3.00	1.50	↘	2.67	1.00	↘	1.75	1.25	↘			2.25	1.25	↘	0.67	0.67		0.33			
水痘	0.18	0.56	↗		0.71	↗	0.50	0.75	↗					2.33	↗	1.00	0.75	↘				0.25	↗							
手足口病	0.15	0.03	↘				1.25	0.25	↘																					
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.38	0.12	↘	0.86	0.14	↘	0.50	0.25	↘	0.50		↘			0.25		↘	0.25		↘		0.25	↗	0.33		↘	0.33	0.33		
ヘルパンギーナ		0.03	↗																			0.25	↗							
流行性耳下腺炎	0.03		↘															0.25		↘										
川崎病	0.06		↘																					0.67		↘				
急性出血性結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*	*	*								1.00		↘	*	*		
流行性角結膜炎										*	*		*	*	*	*											*	*		
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎															*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大館保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のつつが虫病が大館保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から7人、大館保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-47週		48週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	14175	63	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	7		
	腸管出血性大腸菌感染症	2945	21	
	腸チフス	3		
	パラチフス			
四類	E型肝炎	391		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	64		
	エキノコックス症	23		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	8		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	109		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-47週		48週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	316	2	1
	デング熱	6		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	474		
	日本脳炎	3		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	25		
	野兔病			
	ライム病	21		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
類鼻疽				
レジオネラ症	1949	22		
レプトスピラ症	33			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	474	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	172	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1819	28	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	21		
	急性脳炎	297		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	163	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	568	4	
	後天性免疫不全症候群	940	2	
	ジアルジア症	34		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	175	1	
	優襲性髄膜炎菌感染症	2		
	優襲性肺炎球菌感染症	1231	9	
	水痘(入院例に限る)	258	5	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	6940	37	1
	播種性クリプトコックス症	135		
	破傷風	87		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	112		
	百日咳	601	5	
風しん	11			
麻疹	5			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	4			
* 新型コロナウイルス感染症		1776	8	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<結核について>

室内で過ごすことが多くなる冬季は、室内を閉め切っていると、結核などの感染症が拡がりやすくなります。結核は「感染」しても必ずしも「発病」するわけではありませんが、加齢、過労、栄養不良や他の病気により体力が落ちている場合は発病しやすくなるため、高齢者福祉施設等の集団生活を行っている場では、特に注意が必要です。

■県内の発生状況

- ・2021年結核感染者数(週報):第48週現在、秋田県における2021年の結核感染者報告数(無症状結核菌保有者含む)は64人で、昨年同時期の83人よりも少なくなっています。
- ・2020年結核罹患率(年報):2020年における秋田県の人口10万人に対する結核罹患率は6.6で、隣県の山形県と同率でした(表)。2020年の結核罹患率は全国的に例年より大きく減少していますが、その要因としてコロナ禍による受診控えの影響が指摘されています。

■予防のポイント

- ・乳児は、結核に感染すると重症化しやすいため、遅くとも生後1歳までにBCGワクチンを接種しましょう。
- ・症状がなくても、年に一度は職場や地域での健診を受けましょう。
- ・天候や室内の快適性に考慮しながら、換気をこまめに行いましょう。
- ・免疫力が低下しないように、日頃から栄養バランスのよい食事や規則正しい生活を心がけましょう。

表 都道府県別結核罹患率の順位(2020年)

罹患率の低い5都道府県	都道府県名	罹患率	罹患率の高い5都道府県	都道府県名	罹患率
		宮城		5.9	
	山梨	5.9		徳島	13.5
	岩手	6.1		岐阜	13.4
	鳥取	6.1		沖縄	12.7
	山形	6.6		長崎	12.4

※秋田県の罹患率も6.6ですが、同率の場合は小数点2位以下で順位が決定されます。

つつが虫病情報

つつが虫の発生報告が第46週と第48週にありました。

事例No.	届出日	管轄保健所	年齢	性別	症状	感染要因(推定)
2	11/17	北秋田	60代	男性	発熱、発疹、刺し口(左膝裏)	農作業
3	12/3	大館	70代	男性	発熱、発疹、刺し口(右肘内側)	森林作業

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎とかぜ様症状の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				園児	職員	計		
感染性胃腸炎	秋田市	土崎カトリックこども園	12/3	187名のうち15名	36名のうち1名	16名	11/24 ~ 12/3	嘔吐、下痢、腹痛、発熱
かぜ様症状	仙北市	角館こども園	12/1	173名のうち52名	43名のうち0名	52名	11/29 ~ 12/1	発熱、咳、鼻水



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	-	能代(2.33)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		